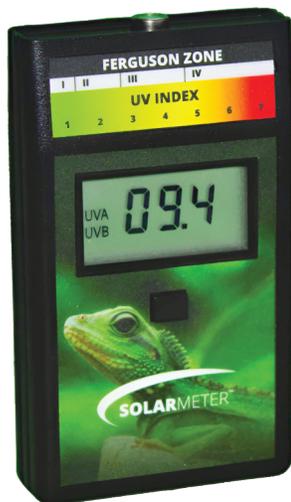


SOLARMETER®

モデル 6.5R

爬虫類用UVインデックスメーター・0~199.9UVインデックス

一体型センサー付きハンドヘルドデジタルUVインデックス放射計



アプリケーション

- 爬虫類のビタミンD3合成を可能にする波長のUV放射量を測定します
- 瞬間UVインデックスを監視
- 時間の経過に伴うUVインデックスの追跡を可能にします



環境



公衆衛生



アウトドア活動



爬虫類/ペット

特長と利点

- 爬虫類のビタミンD作用スペクトルに合わせて、赤みを帯びたスペクトル応答
- メーターのフロントパネルにファーガソンゾーンチャートがあり、簡単に参照できます
- コンパクトで持ち運びやすく、耐久性があります
- シンプルなワンボタン操作
- NISTトレーサブルな精度
- LCDディスプレイ
- 米国製



Solar Light Company, LLCのSOLARMETER®は、屋内と屋外の両方の光源を測定するUVおよび可視光放射計の業界標準です。このNISTトレーサブルメーターは、UV殺菌、爬虫類飼育、屋内日焼け、赤色/青色光線療法、UV硬化、UVインデックスのランプ放射照度と経年変化を監視するために使用されます。

センサー

Solarmeterのモデル6.5R爬虫類UVインデックスメーターは、世界中の多くの科学者やブリーダーに信頼されています。メーターは前面と背面の両方にグラフィックが付いているため、爬虫類の飼い主にとって使いやすいです。これらのグラフィックは、爬虫類の適切なUV照射量に関する最新の科学研究と一致しています。特に、メーター上部のFerguson Zoneチャートは、メーターのUVI読み取り値を瞬時に正確に参照できるようにします。

メーターの操作

Solarmeterを操作するには、メーターの上部パネルにあるセンサーウィンドウをUV光源に直接向けます。メーターの表面にある押しボタンスイッチを押したままにします。最良の結果を得るには、繰り返し測定できるように、UV光源からの距離を記録してください。

バッテリーの動作電圧は9Vから6.5Vまでです。6.5V未満では、LCDディスプレイの数字が暗くなり始め、バッテリーの交換が必要であることを示します。通常のサービス負荷では、標準の9Vバッテリーは約2年間持続します。

SOLARMETER®の適切な使用 紫外線放射計

- UVランプを確認するときは目の保護具を着用してください（ラップアラウンド保護機能を備えたメガネが理想的です）。
- 測定前にランプが温まるまで待ちます（少なくとも15分）。

お手入れとメンテナンス

- メーターを極端な温度、湿度、衝撃、ほこりにさらさないでください。誤って極端な湿度や湿気のある状態にさらした場合、異常に高い測定値が表示されることがあります。メーターを自然に乾燥させるか、シリカゲルを入れた袋に入れると、通常の機能が回復します。
- 機器を清掃するには、傷がつかない柔らかい布を使用してください。センサーに油や汚れなどが付かないようにしてください。

ファーガソンゾーンとは？

テキサスクリスチャン大学のゲイリー・ファーガソン教授率いる爬虫類学者チームは、オリジナルのSolarmeter®モデル6.5 UVインデックスメーターを使用して、野生で研究された15種の爬虫類の毎日の紫外線曝露量をまとめた研究を2010年に発表しました。これらの種は、毎日の日光曝露要件に従って4つのゾーン（別名「ファーガソンゾーン」）に分類されました。2012年、英国アイルランド動物園水族館協会(BIAZA)は、ファーガソンの研究を基に、爬虫類と両生類の254種にファーガソンゾーンを割り当てる文書を作成しました。

SOLAR
LIGHT

旭光通商株式会社
www.kyokko.com

SOLARMETER®

ISO 9001
2015

爬虫類に必要なメーターはモデル6.5Rとモデル6.2Rのどちらですか？

理想的には、爬虫類飼育者は両方のメーターが必要になります。モデル6.5R爬虫類UVインデックスメーターの红斑加重作用スペクトルはビタミンD3合成の作用スペクトルに非常に近いため、爬虫類の適切なUV線量を、その種に適切なファーガソンゾーンに従って決定するのに最適なツールです。実際、6.5Rの測定値は、生息地の光源のビタミンD3生成能力の代理として機能します。一方、モデル6.2R爬虫類UVBランプメーターは、UVBランプがメーカーの仕様どおりに機能しているかどうかを判断し、強度を測定し、経時的な劣化を測定します。つまり、モデル6.5Rを使用して動物の適切なUV線量を決定し、モデル6.2Rを使用してUVBランプの出力を決定します。

SOLARMETER モデル 6.5R UVI 読み取り

ファーガソンゾーン	含まれる種	推奨 UVB
ゾーン 1: 薄明薄暮性または日陰性、温暖性	・カンムリトカゲモドキ ・ヒョウモントカゲモドキ	シェード法: グラデーション UVI 0~0.7
ゾーン1と2の間	・フィジーブランドイグアナ ・コーンスネーク	シェード法: グラデーション UVI 0~0.7
ゾーン 2: 半日陰 / 時々日光浴、温度調節	・オーストラリアンウォータードラゴン ・エメラルドツリーモニター ・グリーンアノール	シェード法: グラデーション UVI 0~1.0 または 太陽光線法: 日光浴ゾーンの UVI 最大 1.1~3.0
ゾーン2と3の間	・アオトカゲモドキ ・チャイニーズウォータードラゴン	太陽光線法: 日光浴ゾーンの UVI 最大 1.1~3.0
ゾーン 3: 日光浴または半日陰、温度調節	・ブラックアンドホワイトテグー ・エリマキトカゲ ・スタンディングズデイヤモリ	太陽光線法: 日光浴ゾーンの UVI 最大 2.9~7.4
ゾーン3とゾーン4の間	・アゴヒゲトカゲ ・ボスクモニターまたはサバナモニター	太陽光線法: 日光浴ゾーンの UVI 最大 2.9~7.4
ゾーン 4: 昼間の日光浴、体温調節	・チャクワラ ・ウロマスティクス	太陽光線法: 日光浴ゾーンの UVI 最大 4.5~8.0

上記の表は、2016年1月のJournal of Zoo and Aquarium Research誌「爬虫類に必要なUV-B量はどれくらいですか？飼育中の爬虫類と両生類のUV照明の選択ガイド: UVツール」(著者: Frances Baines, Joe Chattell, James Dale, Dan Garrick, Iri Gill, Matt Goetz, Tim Skelton, Matt Swatman) の要約版です。

注: データは、2つの基本的な値セットで表示され、UVを提供する2つの方法があります。ゾーン1と2の「シェード メソッド」は、日陰に生息する種です。(これらの種は、通常、明るくて暑い日光浴をしないため、ビバリウムの広い範囲にわたって低レベルのUVBが与えられ、深い日陰では0に勾配します)。「サンビームメソッド」は、日光浴をする種であるゾーン3と4用です。(これらの種には、より高いUVBが与えられますが、ランプの下の「日光浴の斑点」のように、ビバリウムのはるかに狭い部分の日光浴ゾーンに限定されます。ビバリウムは、深い日陰でも0に勾配する必要があります)。

仕様	
モデル	6.5R
照射範囲	0~199.9 UV インデックス
応答	280~400 nm ディフィー红斑作用スペクトル (ビタミンD作用スペクトルとほぼ一致)
解像度	0.1 UV インデックス
変換率	3.0 読み取り/秒
ディスプレイ	3.5 桁 LCD
桁数	10.2 mm
動作温度	0°C ~ 32.2°C
動作湿度	5% ~ 80% RH
精度	±10% Ref. NIST
メーター寸法	106.7L x 61W x 22.9D mm
重量	128g (電池を含む)
電源	9 ボルト DC 電池
レンズ	UV ガラス
ディフューザー	テフロン
機関承認	CE マーク

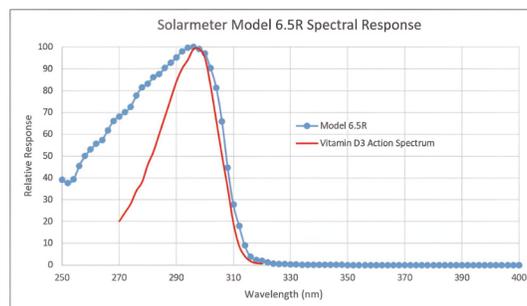


図1. モデル6.5Rのスペクトル応答(線形)



REV F | モデル 6.5R | 2023年1月 仕様は予告なく変更される場合があります。